

## 第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (下越・佐渡流域)

### 1 流域の特色(国有林 149千ha、民有林 214千ha)

- ① 両流域は、新潟県北部の下越地方及び佐渡島に位置し、海岸から中山間地、奥地山岳地帯まで変化に富んだ森林形態となっている。

下越流域の国有林は、磐梯朝日国立公園や多くの県立自然公園に指定されており、国内最大級の朝日山地森林生態系保護地域や越後山脈森林生物遺伝資源保存林等の保護林が設定されるなど、自然豊かで動植物の宝庫となっている。

本流域は、水源かん養保安林が国有林の8割に達し、下越地方の水瓶として重要な役割を担っているほか、都市近郊に近い国有林は、森林を利用したレクリエーションや保健休養、ボランティア活動の場として多くの人々に利用されている。

- ② 佐渡流域は、対馬暖流の影響で県内でも積雪量の最も少ない地域で、全域が小佐渡県立自然公園に指定されている。

絶滅状態であったトキの保護増殖を目的に昭和37年度から昭和45年度にかけて1千haの民有林を買い入れ国有林となっている地域は、全域が鳥獣保護区(一部特別保護区)に指定されている。

平成20年度からトキの野生復帰を目指した試験放鳥が開始され、トキが野生に生息できる環境づくりのため森林整備が進められている。

- ③ 下越流域は、北部及び東蒲原郡を中心に林業生産活動が活発に行われ、当地域においては、森林整備及び木材製品の需要拡大、針葉樹合板・木質バイオマスの需要拡大のための間伐推進等の取組が行われている。

また、佐渡流域においては、間伐等の森林整備推進のための高性能林業機械の導入及び木質バイオマスの利活用が行われている。

- ④ 地球温暖化防止対策や生活環境の安全・安心に対する関心の高まりを背景に、生活環境保全機能などの森林の持つ公益的機能の発揮に引き続き取り組むとともに、川下の漁業関係者の森林造成への要請や都市住民等の参加による森林整備活動や森林環境教育活動等を通じて、森林・林業・木材産業の理解の深化を図るための民・国連携の取組が行われている。

### 2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 下越流域

- ア) 長伐期・複層林施業の導入を推進し、森林経営意欲向上のための施業の集団化を促進
- イ) 公共土木工事等への間伐材の利用促進、針葉樹合板及び木質バイオマス利用等による森林整備の拡大
- ウ) 森林施業の効率的な実施に重要な高性能林業機械の導入と林内路網整備
- エ) 保安林等の公益性の高い森林の整備と特用林産物生産のための広葉樹の育成

- オ) 森林環境教育や森林空間利用の期待が大きいことから、里山林を中心としたエリアの確保と整備の推進
  - カ) 「ユニット流域生産計画」等による計画的・継続的な素材の確保
  - キ) 高性能林業機械の導入、高密度路網整備等による生産コストの低減
  - ク) 木質資源の循環型利用・未利用資源の活用促進のため、木質バイオマス等の製品開発と需要拡大のPR
  - ケ) 気候風土に適合した安全・安心な住宅需要が増えつつあり、消費者ニーズに応えた地域材の供給体制づくり
  - コ) 越後杉ブランドなどの県産材を使用した住宅建築の促進
  - サ) 地球環境保全と森林の役割・木の良さ・地域材利用の重要性等の住民の理解を得るための「講演会」等の開催
  - シ) 生物多様性に配慮した取組の推進
- ② 佐渡流域
- ア) 間伐の推進のため、森林施業の集団化と機械化の推進に取り組む
  - イ) 佐渡産材の利用促進のため、公共施設・一般住宅等への「佐渡杉ブランド」利用拡大の推進
  - ウ) 鬼太鼓木の文化の推進
  - エ) 木質バイオマスの利用促進
  - オ) 特用林産物（佐渡産乾シイタケ・竹製品）需要拡大のため、シイタケ原木の安定供給できるシステムづくり、荒廃竹林の整備推進

### 3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- ① 県・市町村等
- ア) 計画的な木材供給の推進
  - イ) 森林施業の効率化・共通化等の取組
  - ウ) 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成
  - エ) 安全・安心への取組
  - オ) 生物多様性保全に配慮した取組みの推進
  - カ) 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等
- ② 森林・林業関係業界
- ア) 計画的な木材供給の推進
  - イ) 森林施業の効率化・共通化等の取組
  - ウ) 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成
  - エ) 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

### 4 国有林野事業が率先して行う取組

- ① 計画的な木材供給の推進
- ア) 目標
    - ・ 民・国連携による間伐材の計画的供給及び間伐材の有効利用
    - ・ 地域材の利用・間伐推進のための民・国連携による情報の提供

イ) 連携・協力機関：県・市町村・森林組合・活性化センター等

ウ) 取組方向

- ・越後杉ブランド材・木質バイオマスの利用促進のための連携した取組
- ・間伐材等の利用による環境に調和した地球に優しい治山事業の取組
- ・地域材利用促進のための国有林材の木材販売（立木・素材）情報提供の取組

② 森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

地域の団体等連携した森林整備等の推進

イ) 連携・協力機関

各団体

ウ) 取組方向

団体等との情報交換、鬼太鼓の森づくり、森林整備活動等の実施

③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ア) 目標

林業技術の向上及び緑の雇用等の担い手研修フィールド等としての活用

イ) 連携・協力機関

県・市町村・森林組合・林業事業体等

ウ) 取組方向

林業技術向上研修及び担い手研修の開催

④ 安全・安心への取組

ア) 目標

- ・地域住民等に対する防災への情報提供
- ・保安林改良事業による防災機能の発揮

イ) 連携・協力機関

自治体及び地域住民

ウ) 取組方向

- ・地域住民に対する治山見学会の実施
- ・保安林改良事業を通して、森林整備を実施

⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

- ・希少猛禽類の生息環境と調和した路網整備の実施
- ・トキの野生復帰に向けての森林整備の実施

イ) 連携・協力機関

- ・施工業者等
- ・環境省・新潟県・佐渡市

ウ) 取組方向

- ・林道工事着手前に「希少野生動植物」に対応する際の留意点について専門家による講話等の実施
- ・民・国連携による森林整備のための情報交換

⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

- ・教育関係機関等と連携した森林環境教育の推進
- ・自主的な森林観察、体験林業、ボランティア活動等のためのフィールドの提供及び活動支援の実施
- ・上下流域連携等のための各種情報提供・情報交換
- ・指導者研修会フィールド等としての活用

イ) 連携・協力機関：新潟県・市町村・教育関係機関・森林組合・各種団体等

ウ) 取組方向

- ・教育関係機関等と連携した森林環境教育の実施
- ・自主的な森林観察、体験林業、ボランティア活動等のためのフィールドの提供及び活動支援の実施
- ・地域住民・一般参加による自然観察・保全・教育活動等の実施
- ・「さけの森づくり」の場などの森林とのふれあい指導者研修会等の開催

流域名・流域番号	下越流域（５２） 佐渡流域（５４）	担当部署	下越森林管理署 ・村上支署
計画期間	平成２２年４月１日～平成２５年３月３１日		